

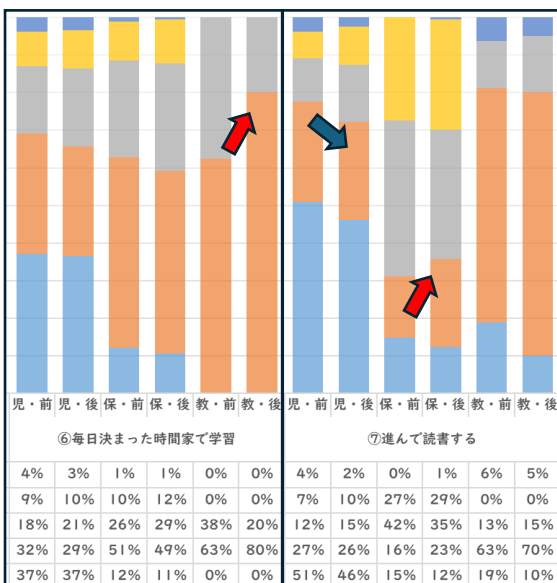
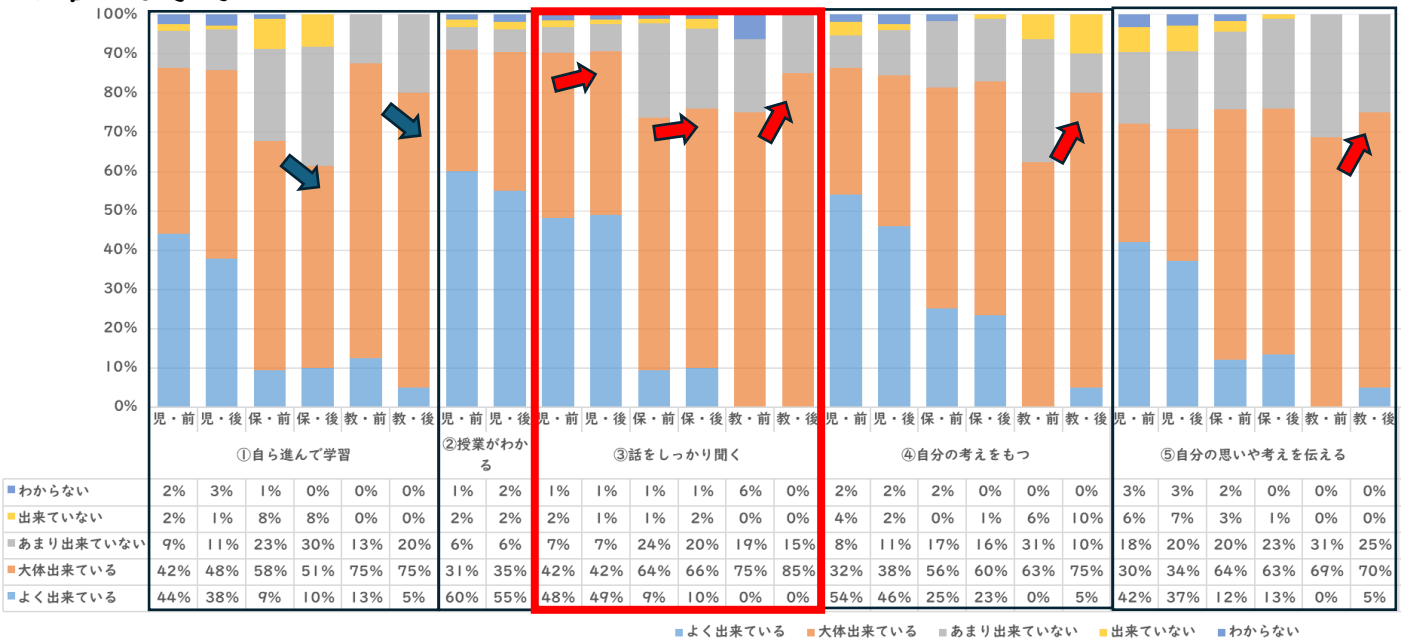
仁和小学校 学校教育目標 ゆめに向かって 自ら学び 自ら考え たくましく 共に生きる 仁和の子

きらめきゆめアンケート後期結果

保護者の皆様には、お忙しい中2学期末に「令和7年度きらめきアンケート(学校評価アンケート)」にご協力いただき、ありがとうございました。集計の結果をお知らせします。今回のきらめきアンケートへの回答率は47%でした。よかった点も課題点も含め、保護者の方や地域の方と共有し、よりよい学校づくりにつなげていけたらと思います。

学校評価アンケートの内容を、『確かな学力』『豊かな心』『健やかな体』『学校独自の取組』『自由記述』の5つに分類し、順に分析した内容をお伝えします。

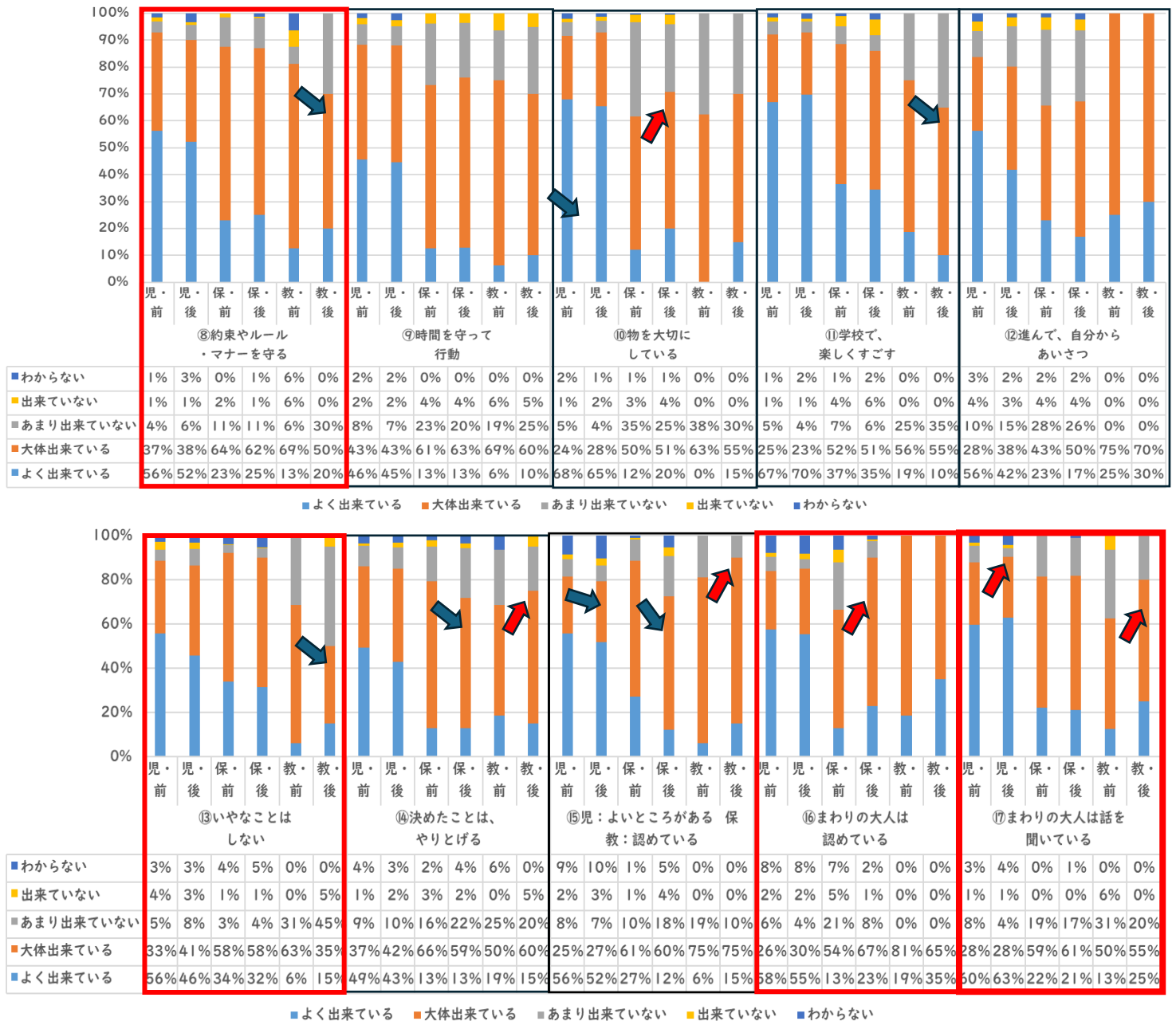
1. 確かな学力



『確かな学力』について、全体として肯定的です。前期は、児童と保護者・教職員の評価の差が大きく、児童は肯定的な評価をしているのに対して、保護者・教職員は肯定的な割合が低い結果となっていました。後期は前期に比べ、児童は低下傾向、保護者は横ばい、教職員は上昇傾向にあります。児童の下降傾向の原因として「課題が新たに出てきた」ことも挙げられますが、「児童自身が課題を見つめられるようになってきた」と評価することもできます。日常、児童を近くで見ている教職員の評価が相対的に上がっていることから、日々の取組が子どもたちに届いている部分もあるように見受けられます。

『確かな学力』の中で注目したいのが、『③話をしっかり聴く』の項目です。この項目については3者とも改善していますが、特に教職員の伸びが大きいです。本年度は全校で「話を聴くこと」を大切に取組を行ってきました。教室での話を聴く姿を具体的に掲げ、それを実践できる児童も増えてきました。今後は、内容にもこだわって聴く力をつけていきたいと考えております。その取組を『④自分の考えをもつ』『⑤自分の思いや考えを伝える』力にも繋げていきたいと考えています。

2. 豊かな心



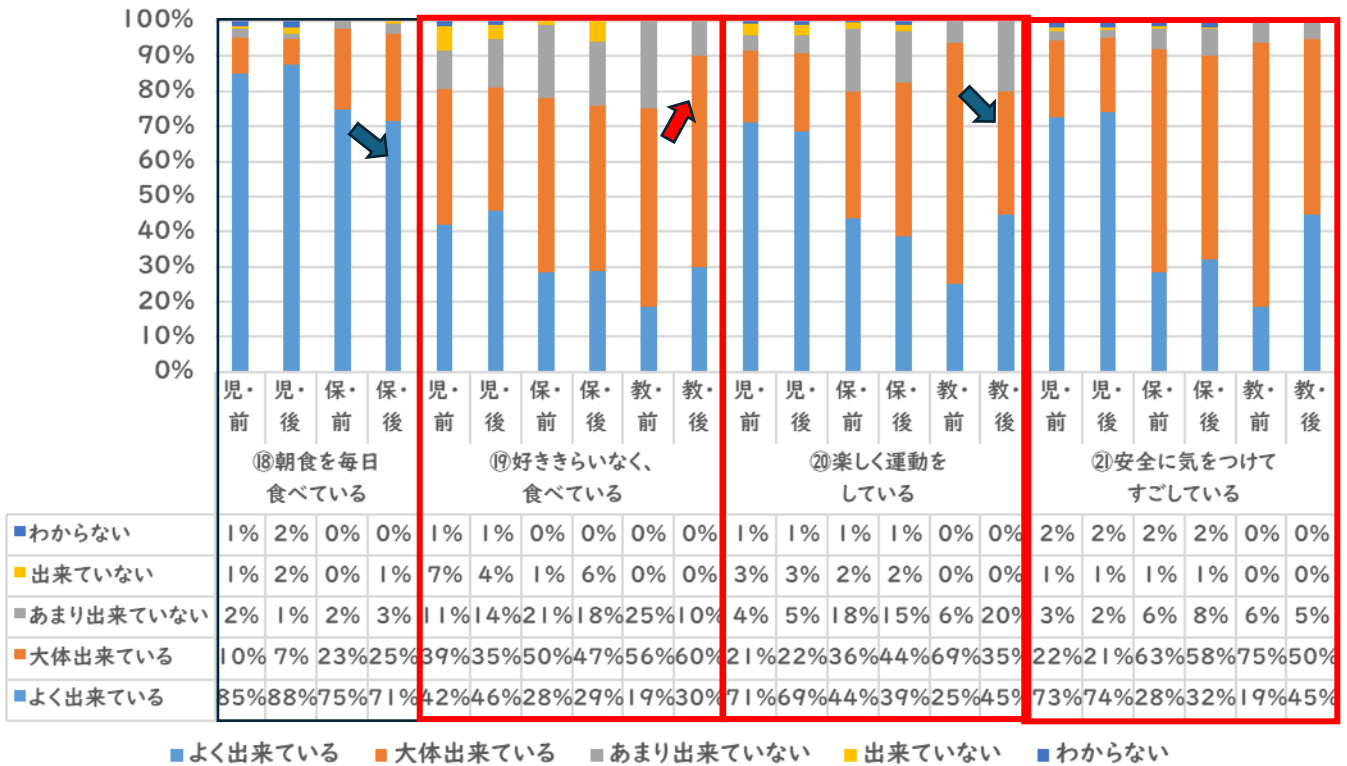
『豊かな心』については、前期と同じく肯定的な割合が高くなっています。

今回注目したいのは、『⑯児童：大人から認められている 保護者・教職員：大人は認めている』について、保護者の評価が大幅に上昇しています。ご家庭でも子どもたちを承認し、肯定的な声かけをしていただいていることがうかがえます。学校でも、あらゆる場面で児童の行動を認め、それをしっかり声に出して伝えたり、日常の取組や行事で意図的に出来たことを振り返り、評価し、次につなげたりしようと取り組んできました。『⑰まわりの大人は話を聞いている』の児童・教職員の結果にも表れています。今後も、褒めて自信をつけるだけでなく、様々な場面で役割をもち、失敗しながらでも頑張れたことやできたことを達成感につなげ、自己肯定感の向上に努めていくために、たてわり活動や委員会活動、日々の学級での活動も大切にしていきます。

課題としては『⑬いやなことはしない』について教職員評価が大きく低下しています。代表委員会では、児童が主体となり話し合いを進め、「相手のことを考える」というテーマに設定し、取り組んできました。各教室でのめあてを決め、意識を高めてきました。12月の人権朝会には、学校長より「にこにこアンケート(いじめアンケート)」を基にしたお話があり、仁和小学校のみんなが楽しく過ごせる学校にしようと話し合ったり、教職員間でも情報共有し、子どもたちの様子を注視したりしてきました。この項目は、『⑧約束やルール・マナーを守る』の項目にもつながってくると思います。今後も、学校内での人間関係・言動面の課題には今後も継続的に対応していきます。

学校では人間関係の中で、いろんなことを学びます。うまくいかない時もありますが、その度に考えたり悩んだり相談したりすることが、経験として力になります。みんなが『⑪学校で楽しく過ごしている』となるように取組をすすめます。

3. 健やかな体



『健やかな体』において、児童・保護者・教職員ともに肯定的な評価であります。

『㉑安全に気をつけてすごす』については、3者とも高水準で安定しています。アンケートの結果からは、安全意識の定着が伺えます。前期には、校舎の使い方・廊下の歩き方などについて教職員で話し合い共通理解し、児童への指導をしてきました。また、児童会の取組として『ノーダッシュウィーク』を行い、みんなで取り組みました。そのような取組を通して、校内では安全に気をつける意識も高まりつつあります。ただ、登下校時の様子を見てみると、車が来ているのに飛び出していたり広がって歩いたり、心配な場面もたくさんあります。引き続き、いろんな場面での安全指導を続けていきます。

『⑲好ききらいなく食べる』について教職員の結果が後期に大きく改善しています。給食場面での指導・声かけの成果が示唆されます。給食の残菜も比較的少なく、いろんな食材を楽しんで食べている様子もうかがえます。

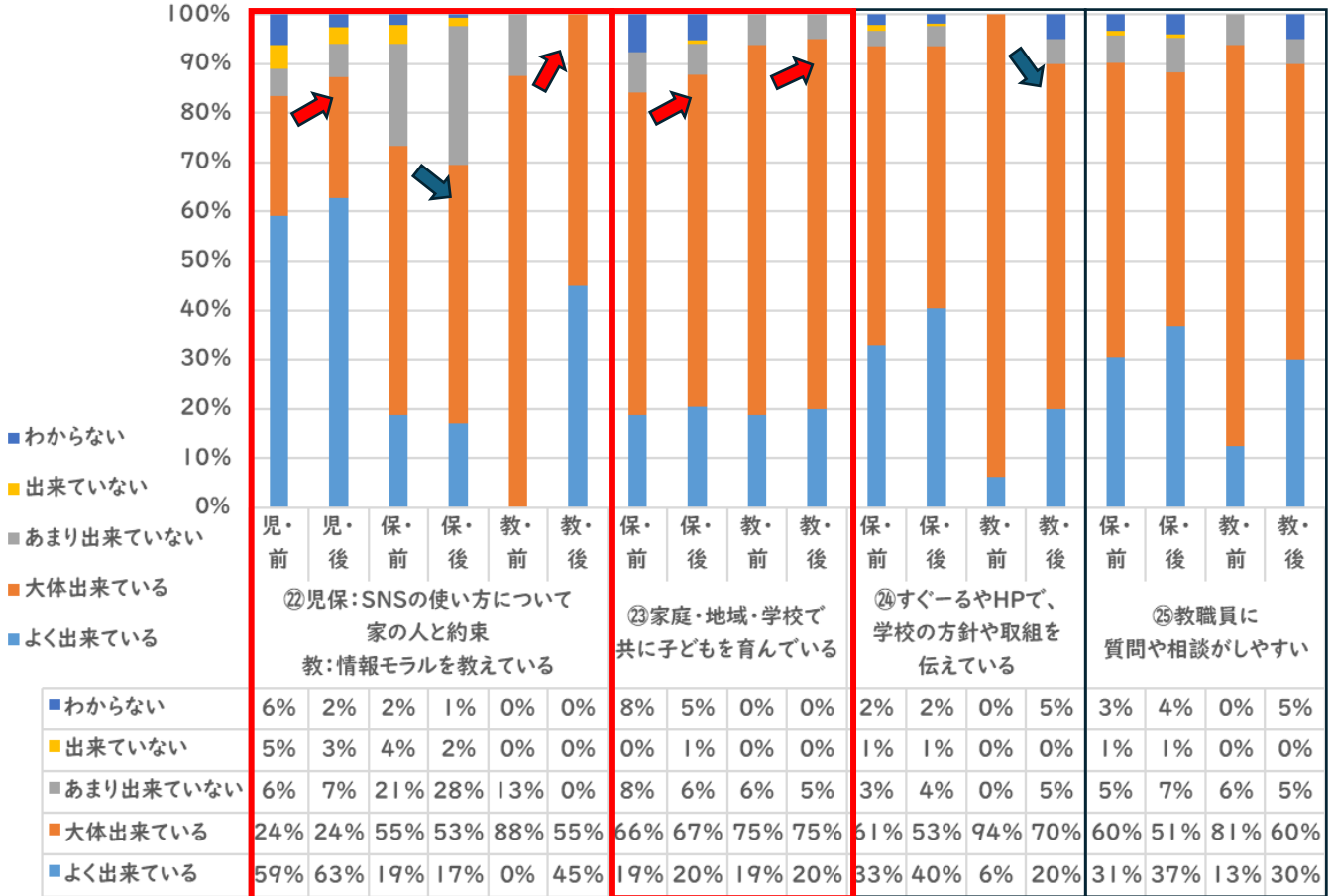
『⑳楽しく運動している』において、休み時間は運動場やゆめの森、中庭で遊んでいる児童と、教室や図書館で過ごし、体を動かして遊ばない児童が二極化しています。本年度より、ジャンプアップの取組や、縦割りグループで過ごすロング昼休みを行い、しっかり遊べる時間などの時間を確保しました。来年度は、今年度整えた環境を活かして、更にみんなで楽しく運動する経験を積み、自ら進んで楽しく運動する児童を育成していきたいです。

前期にも書きましたが、どの課題についても行動する前にしっかり考えられているか、自分のことだけでなく他人のことも想像できているかが大きく関わります。児童にそのような思考を促すよう今後も、働きかけていきたいと考えています。



縦割りグループでの冬まつりの様子

4. その他



児童の SNS の使用については、喫緊の課題であります。『② SNS の使い方について家の人と約束している』の項目について、保護者の評価が下がっています。これは、SNS における暴力動画の拡散を受けて、世間の意識も高まっていることに起因しているのかもしれませんが。ご家庭で、スマートフォンやタブレット端末をお子さまが使用する際には、SNS 使用時の約束について話し合い、使用方法についてもご確認いただきますようお願いいたします。小学校においては、年に 2 回行っている「にこにこアンケート（いじめアンケート）」を 2 月に再度行いました。また高学年において、新たに SNS の利用について、情報モラルの指導をします。来年度も、発達段階に応じて情報モラル学習を続けていきます。

『③ 家庭・地域・学校で共に子どもを育てている』の項目については、保護者・教職員とも上昇傾向にあります。日頃、子どもたちの頑張りや課題を、一緒に悩み、一緒に考え、一緒に喜ぶことができている場面もあり、本当にありがたいと感じております。『⑤ 教職員に質問・相談しやすい』の項目にもつながってくる内容であると捉えております。学校といたしましては、是非お話を聞きたいと思っております。何か気になられることがありましたら、是非遠慮することなく相談していただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

5. 自由記述より

自由記述欄にも、たくさんの貴重なご意見をいただきました。ご意見と共に、教職員における温かいお言葉もたくさんちょうだいしました。ありがとうございます。

また連合会の皆様も、毎朝見守っていただいていることへの感謝も書かれていました。

ご意見をいただいた中で、記名していただいた方には、直接お返事をさせていただきました。



学校運営協議会理事の皆様より

教育活動全般について

- 肯定的な意見が多く、子どもたちのために日々取組をされていることが伺える。
- 学校の様子を知りたいと思っておられる保護者が多いので、今後も学校は日々の取組についてお知らせしたり、保護者は不安のことがあれば相談したりすることが大切である。
- 学校現場は日々、忙しく、人手も少ない中で頑張っている。

情報モラル・SNSとの向き合い方・情報の扱い方について

- SNSでのトラブルについては、ニュースなどを見ていて、どの家庭や学校でも指導が必要なことである。
家庭で起きていることを学校が対応することに限界があると思う。家庭でもしっかり子どもたちの行動を把握すべきだ。
- 学校でも1年生から情報モラル教育について取り組まれていると聞いた。
また、土曜参観で情報モラルについての学習を入れていただいているのはありがたい。保護者も一緒に学ぶべきだ。
情報の正しさを見極める力や、AIが作ったものを正しく利活用する力をつけていかなければいけない。
学習の場面でiPadを何のために使うのか、どのように使うのか。iPad使用の意図を教職員も子どもたちも考えるべきであり、子どもたちの発達や成長にどう影響するのかなども考えないといけない。
- いろいろなものが発達しようと、読書力は大事である。情報を得る時にはインターネットからだけでなく、出版されているものも併せて利用するようにしたい。

児童の様子について

- 子どもたちはよく遊んでいる。学校に残って遊んだり、公園でもよく姿を見かけたりする。
- 姿勢の悪い児童が多いので日々の姿勢により巻き肩になっていることが気になる。体幹を育てるとよい。
- 学校ではルールを守っていても教師や親の知らないところでいろいろやっていることもある。自己指導能力をつけないと感じている。

すべての子どもたちにとって、「友だち大好き!仁和最高!」と言える学校になるよう、今後も保護者や地域の皆様と情報交流しながら、教職員みんなで取り組みを進めていきたいと思っております。貴重なご意見をありがとうございました。

